

「キッズテニス教室」に参加しよう！

主催	香川県テニス協会
共催	東かがわ市テニス協会
協力	ヨネックス(株)
趣旨	「テニスをやってみたい」「今テニスを習っているがもっとラリーをしたい。ゲームがしたい」「テニスが大好き！」なお子様の参加をお待ちしています。
日時	平成29年 1月22日(日)10:00~12:00
場所	ベッセルおおち室内球技場 TEL:(0879)26-1126
参加者	別紙
指導者	同上

内 容

軽快な音楽が室内球技場に流れるなか、香川県テニス協会普及委員会の堀田コーチによる準備体操が始まりました。子供たちを連れてきてくれたお父さん・お母さんと一緒にウォーミングアップです。



今回で3回目を迎えるこの教室は日本テニス協会(JTA)が全国各地で推進するPLAY&STAYテニス普及活動の一環で、東かがわ市テニス協会との共同事業として実施されました。毎年、東かがわ市内はもちろん高松地区からも多くの子供たちが参加してくれます。

クラスは学年別で分けていましたが、低学年の中には小さい時から始めている子もいて、経験の浅い子にとっても良いお手本になり、それが刺激になってうまく上達するきっかけを与えてくれました。



会場は室内多目的球技場なので、風の影響はないのですが外は小雨の残る寒い日です。でもコートは徐々に子供たちの熱気に包まれていきます。カスミちゃんは教室が始まる前から会場の周りをランニングして最初から半袖に短パン。元気いっぱいです！！

ラケットでボールを打ち始めると各コートは子供たちの歓声とコーチたちの励ましの声掛けでさらにヒートアップ

今回、障がいを持つ参加者は2人。昨年初めて参加してくれたマイちゃんと新たにエリちゃん。担当コーチとして障がい者スポーツ指導員の杉山とアシスタントとして今春から大学生の愛コーチ。彼女たちと月に一回のペースで高松地区でテニスを始めたそうです。



発達障害として、若干の運動機能不足は抱えるもののボールに対する集中力は並外れていて楽しそうにラケットを振っていました。そして「継続する」ということの大切さを改めて感じたことはマイちゃんがこの一年間でずいぶん上手になっている事でした。

各コートでは、それぞれのコーチは従来的一方通行型のレッスンではなく対話型の指導方法により子供たちの声に耳を傾けながら進めていきます。子供たちはうまくいかなければ自ら工夫し何とか解決策を見つけ出します。コーチはその手助けをします。



子供たちは競争しがります。最後は試合で勝負です。試合までできなかったクラスもあてゲームで盛り上がりました。そしてあっという間に2時間が過ぎてしまいました。



子供たちに感想を言ってもらおうと。
「楽しかった！」
「面白かったので良かった」
「もっとテニスをやりたい！」
「これからもテニスを続けていきます。」

最後に教えてもらったコーチに大きな声で「ありがとうございました！！」
連れてきてもらったお父さん・お母さんに「ありがとうございました！！」
感謝の気持ちを伝えました。
最後は全員でお片付け。そして記念写真。

来年も是非よろしくをお願いします。



報告 東かがわ市テニス協会 杉山良一